

# NAStorage

## ～ アクセス制限設定例 ～

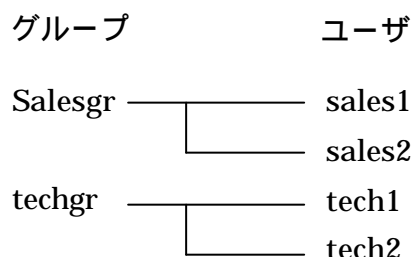
NAStorage では、アクセス制限として、NAStorage 上のファイルシステムにおける「アクセス許可 (ACL)」および、SMB/CIFS 共有における「共有アクセス許可」をサポートしている。

以下に、Windows クライアントからの利用の設定例を挙げる。  
詳細については、「NAStorage ユーザガイド v1.20」を参照のこと。

### ■ 環境の前提

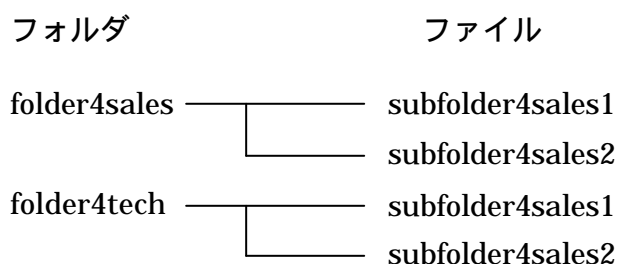
#### << ユーザ / グループ >>

以下の手順では、次のようなユーザ / グループ構造を仮定している。



#### << ファイル / フォルダ >>

以下の手順では、次のようなファイル / フォルダ構造を仮定している。



#### << セキュリティポリシー >>

以下の手順では、次のようなセキュリティポリシーを仮定している。

グループ単位でアクセス可能なフォルダを分ける。

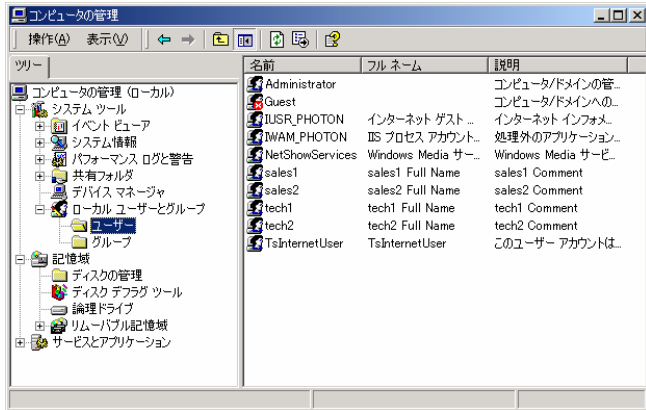
他グループのフォルダにはアクセスできない。

同一グループのフォルダ内でも他ユーザのフォルダにはアクセスできない。

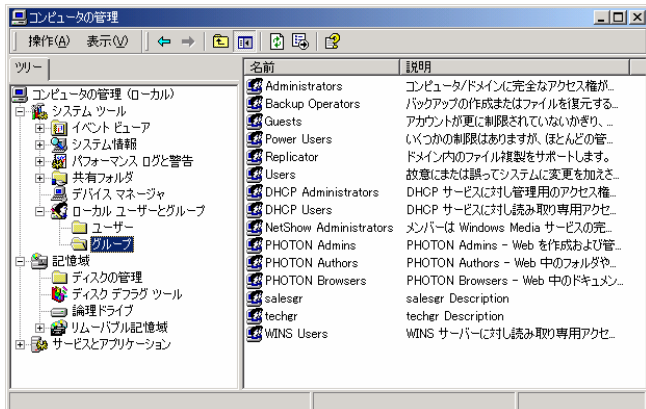
以下に、設定の手順および確認の方法を示す。

## ■ 設定の手順

(1) Windows クライアント側でのユーザを確認。  
sales1、sales2、tech1、tech2 が登録されている。

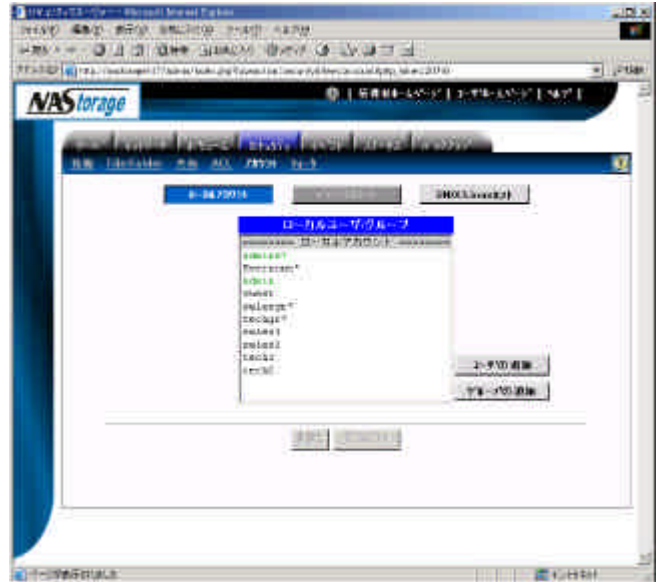


(2) Windows クライアント側でのグループを確認。  
salesgr および techgr が登録されている。  
それぞれ sales1、sales2 および tech1、tech2 が所  
属している。



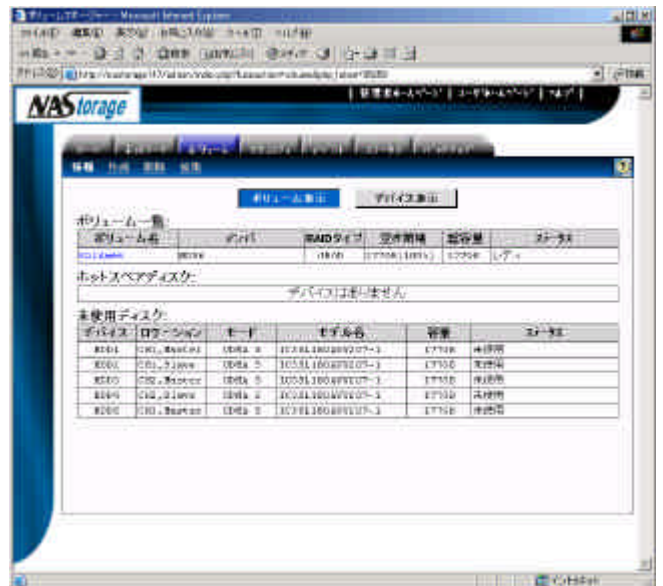
(3) NASStorage 上にも同一のユーザ / グループが  
登録されていることを確認する。

ここでは、ユーザ sales1、sales2、tech1、tech2、グ  
ループ salesgr、techgr が登録されている。

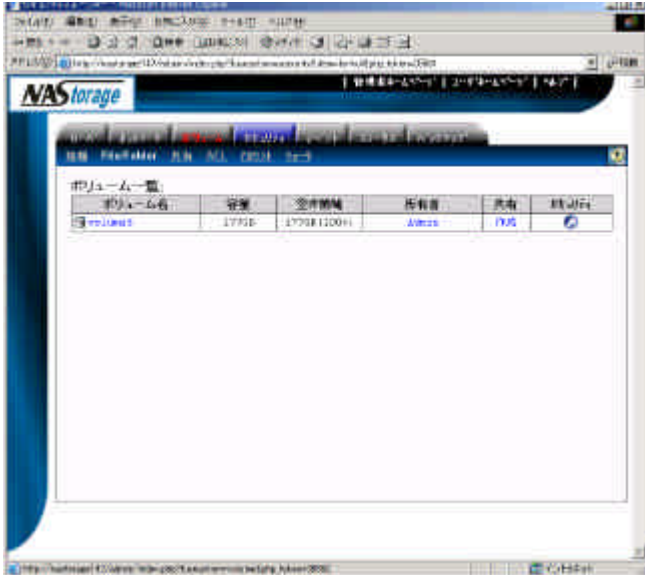


(4) ファイル / フォルダを格納するボリュームが作成  
されていることを確認する。

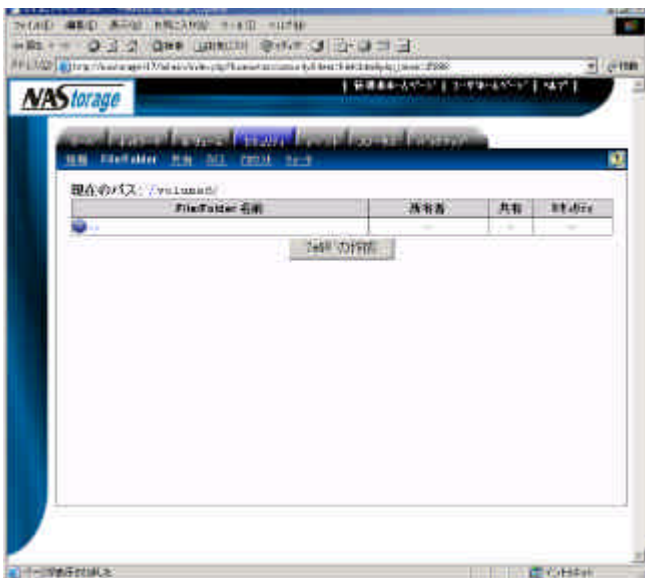
ここでは、ボリューム volume6 を使用する。



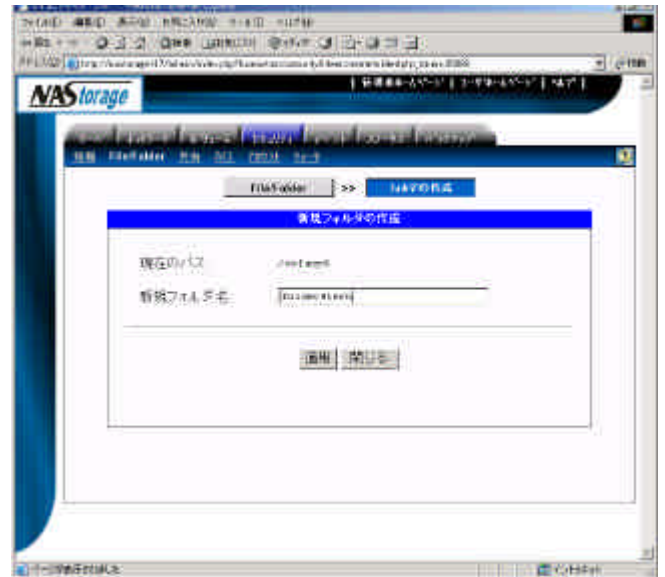
(5) **セキュリティ File/Folder** ページに移動。  
 ボリューム名欄のハイパーリンク **volume** をクリックする。



(6) **フォルダの作成** ボタンをクリックする。

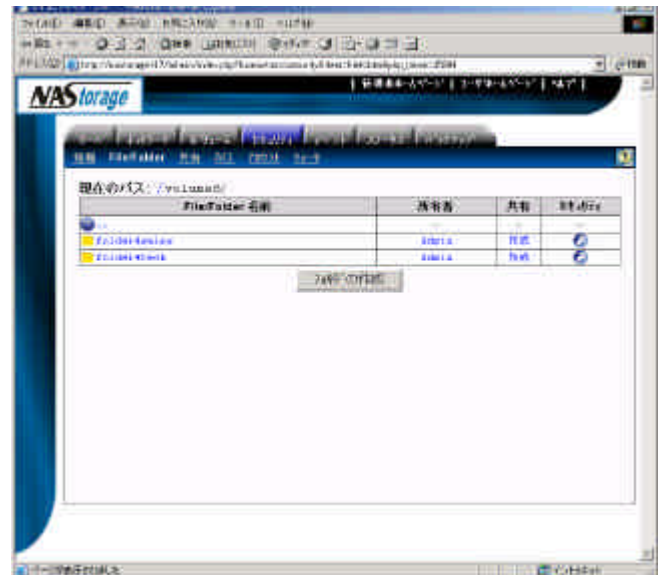


(7) フォルダ **folder4sales** および **folder4tech** を作成する。

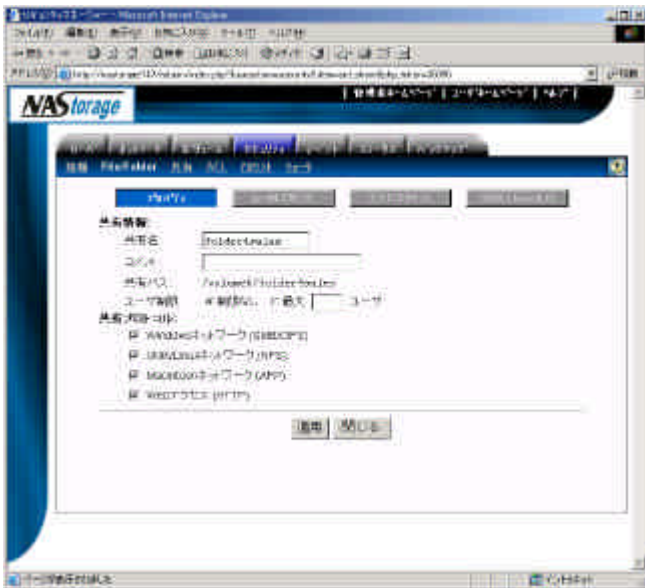


(8) NASStorage のボリューム **volume6** 内に、フォルダ **folder4sales**、**folder4tech** が作成されたことを確認する。

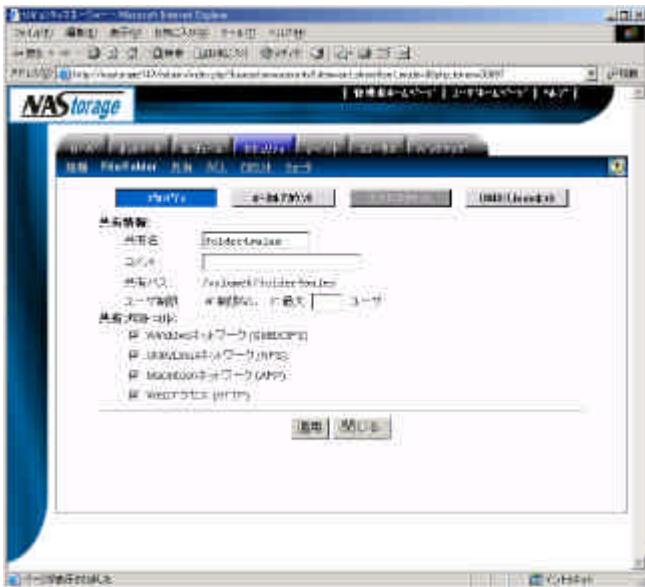
**folder4sales** の共有欄の**作成**をクリックする。



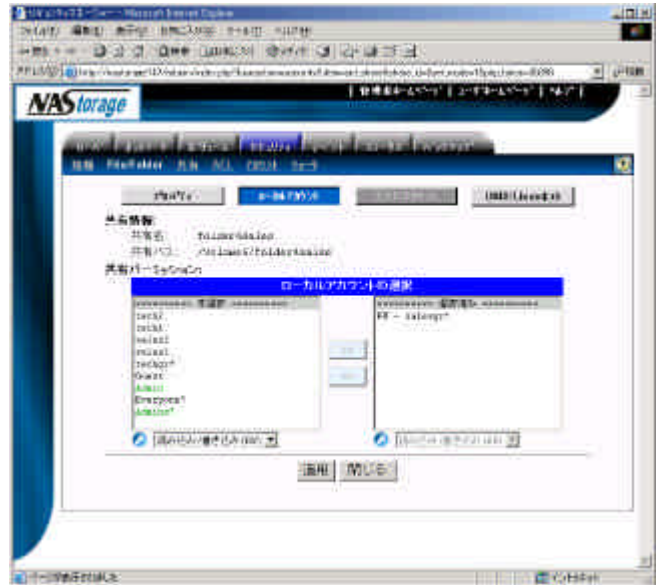
(9) 適用ボタンをクリックする。



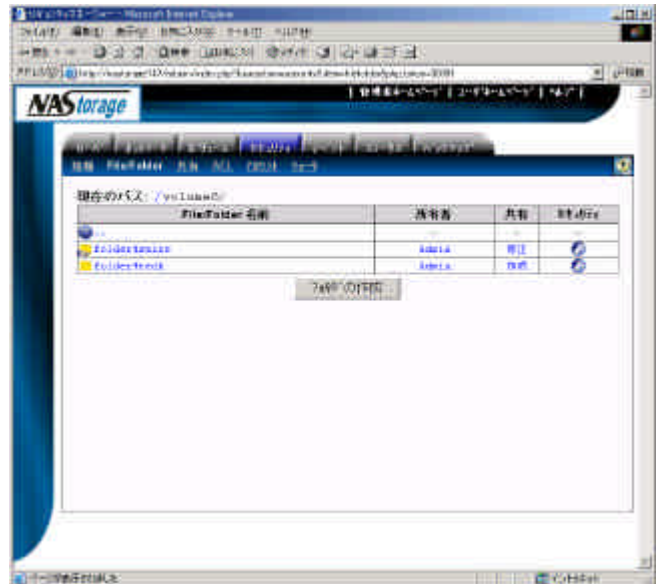
(10) ローカルアカウントボタンをクリックする。



(11) salesgr の読み込み/書き込み (RW) アクセス権を与え、適用をクリック。  
その後、閉じるをクリック。

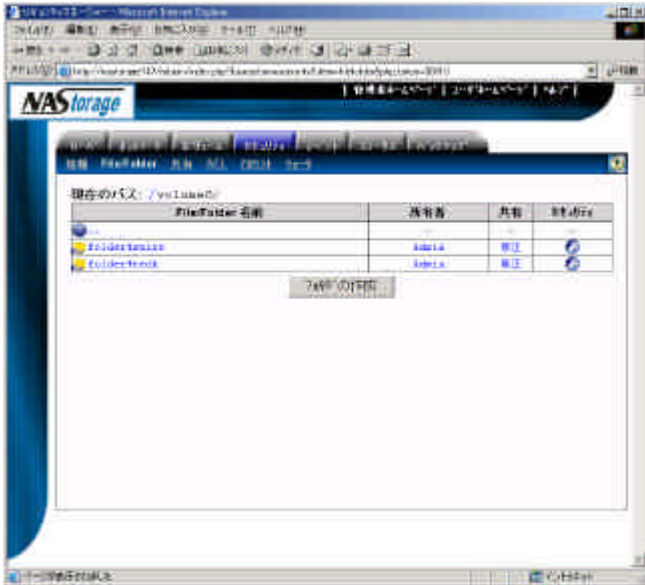


(12) folder4sales フォルダの共有アクセス許可の設定ができる。

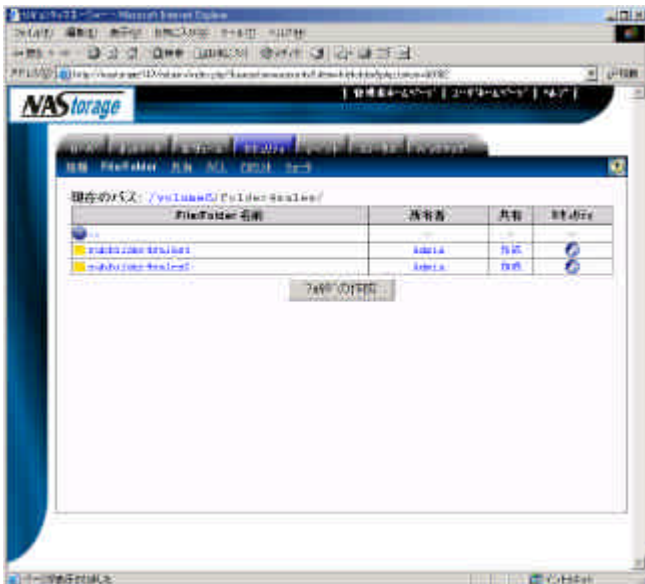


(13) folder4tech フォルダについても同様に設定する。

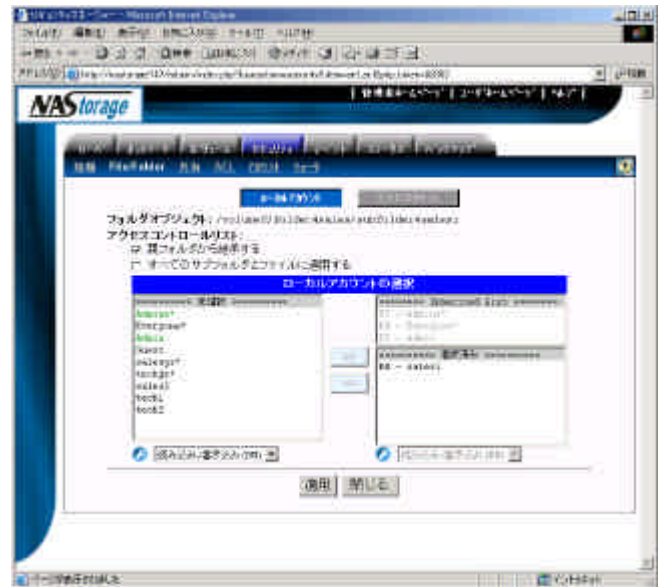
**File/Folder 名前欄の folder4sales をクリック。**  
サブフォルダ **subfolder4sales** および **subfolder4sales2** を作成する。



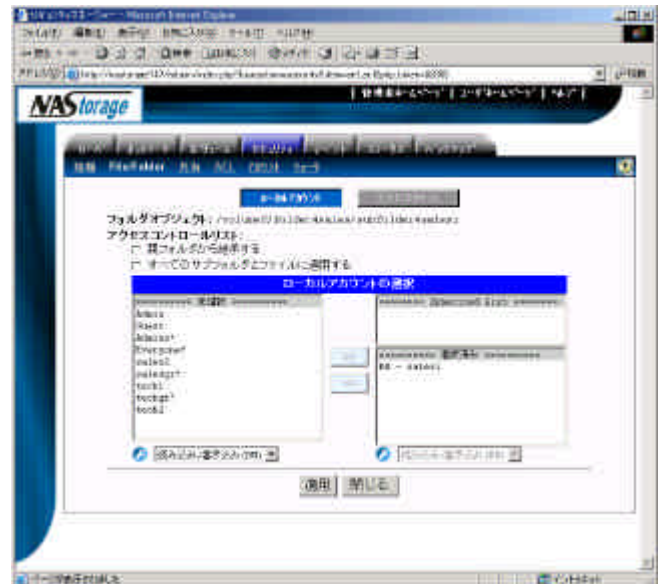
(14) subfolder4sales1 のセキュリティ欄の鍵アイコンをクリック。



(15) 親フォルダから継承するチェックボックスのチェックを外し、適用をクリックする。

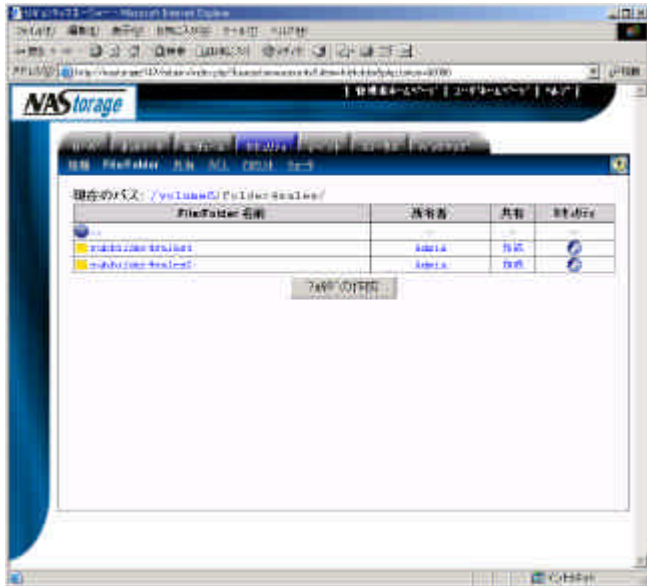


(16) FC-Admins、RW-Everyone、FC-Admin を削除して、RW-sales1 (sales1 の読み込み/書き込みアクセス権)を追加し、適用をクリック。その後、閉じるをクリック。

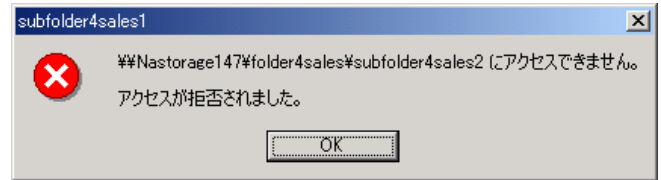


(17) 同様にサブフォルダ **subfolder4sales2** についても設定する。

さらに、フォルダ **folder4tech** についても、サブフォルダを作成、セキュリティを設定する。



(3) フォルダ **folder4sales** にはアクセスできるが、サブフォルダ **subfolder4sales2** にはアクセスできない。



(4) 同様にフォルダ **folder4tech** にはアクセスできない。



## ■ 確認の手順

(1) クライアント端末で、**sales1** でログインする。

(2) フォルダ **folder4sales** およびサブフォルダ **subfolder4sales1** にアクセスできた。

